

Delegated Administrator for Messaging— インストール および管理ガイド

iPlanet Messaging Server

リリース 5.0

816-0639-01
2001 年 3 月

Copyright © 2000 Sun Microsystems, Inc. Some preexisting portions Copyright © 2000 Netscape Communications Corporation. All rights reserved.

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴ、iPlanet および iPlanet ロゴは、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。Netscape および Netscape N のロゴは、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation の登録商標です。その他の Netscape のロゴ、製品名およびサービス名は、その他の国で登録されている可能性のある Netscape Communications Corporation の商標です。

連邦政府における取得：商業的ソフトウェア — 政府関係者のユーザは、標準のライセンス条件および条約に従うこと。

本書で説明されている製品は、その使用、コピー、配布、逆コンパイルを制限するライセンスの下で配布されます。製品または本書は、Sun-Netscape Alliance およびそのライセンス付与者からあらかじめ許可を得ていない限り、いかなる方法による、いかなる形式でも、再生成することはできません。

本書は、「保証なしで」提供され、すべての表現または暗黙の条件、暗黙の警告または生産性を含む表現および警告、特定の目的または非違法目的への適合性に対する権利は、法的に違法にならない程度、放棄されます。

Copyright © 2000 Sun Microsystems, Inc. Pour certaines parties préexistantes, Copyright © 2000 Netscape Communication Corp. Tous droits réservés.

Sun, Sun Microsystems, and the Sun logo iPlanet, and the iPlanet logo sont des marques de fabrique ou des marques déposées de Sun Microsystems, Inc. aux Etats-Unis et d'autre pays. Netscape et the Netscape N logo sont des marques déposées de Netscape Communications Corporation aux Etats-Unis et d'autre pays. Les autres logos, les noms de produit, et les noms de service de Netscape sont des marques déposées de Netscape Communications Corporation dans certains autres pays.

Le produit décrit dans ce document est distribué selon des conditions de licence qui en restreignent l'utilisation, la copie, la distribution et la décompilation. Aucune partie de ce produit ni de ce document ne peut être reproduite sous quelque forme ou par quelque moyen que ce soit sans l'autorisation écrite préalable de l'Alliance Sun-Netscape et, le cas échéant, de ses bailleurs de licence.

CETTE DOCUMENTATION EST FOURNIE "EN L'ÉTAT", ET TOUTES CONDITIONS EXPRESSES OU IMPLICITES, TOUTES REPRÉSENTATIONS ET TOUTES GARANTIES, Y COMPRIS TOUTE GARANTIE IMPLICITE D'APTITUDE À LA VENTE, OU À UN BUT PARTICULIER OU DE NON CONTREFAÇON SONT EXCLUES, EXCEPTÉ DANS LA MESURE OÙ DE TELLES EXCLUSIONS SERAIENT CONTRAIRES À LA LOI.

目次

本書について	v
本書の対象読者	v
前提条件	vi
本書の編成	vi
本書の表記規則	vi
モノスペース	vi
ボールドモノスペース	vi
イタリック	vii
角括弧または直線の括弧	viii
コマンドラインプロンプト	viii
関連情報	ix
本書のオンライン情報	ix
第1章 プリインストール問題および説明	1
製品要件および制限	1
ソフトウェア要件	1
ハードウェア要件	2
製品制限	2
プリインストールの手順	2
第2章 インストール手順	5
ステップ1：iPlanet Messaging Server 5.0 のインストールおよびインストールパラメータの記録 ...	6
ステップ2：Directory Server プラグインの構成	6
ステップ3：Directory Server の構成	7
ページ処理および検索パラメータの最適化	7
ステップ4：iPlanet Web Server 4.1 SP2 のインストールおよびアップグレード	8
ステップ5：Delegated Administrator のインストール	9
インストール画面1— ヒント	9
インストール画面2— ライセンス	10
インストール画面3— インストール場所	10

インストール画面 4 — Purge コマンドの使用	11
インストール画面 5 — Calendar Server	12
インストール画面 6 — Enterprise Server	12
インストール画面 7 — LDAP Server Host & Port	13
インストール画面 8 — Directory Manager & Password	14
インストール画面 9 — サービス クラス プラグイン	14
インストール画面 10 — ユーザ データ サフィックス	15
インストール画面 11 — DC サフィックス	15
インストール画面 12 — 構成サフィックス	16
インストール画面 13 — URL	16
Delegated Administrator の使用	17
[起動] ページから Delegated Administrator を起動するには :	17

第 3 章 Delegated Administrator for Messaging の管理	19
Delegated Administrator のアンインストール	19
Delegated Administrator for Messaging 特権ユーザ パスワードの変更	20
LDAP Server およびポートの変更	21
Messaging Server Host または Administration Server Port の変更	21
Delegated Administrator for Messaging Web Server の再起動	21
シングル サイン オンの追加	22
Secure Socket Layer の追加	22
User Directory Failover の追加	22
Input Validation Servlet の変更	22

索引	25
-----------------	-----------

本書について

本書では、Delegated Administrator for Messaging のインストールおよび管理方法について説明します。Delegated Administrator for Messaging は、オープンインターネット規格を使用したすべてのサイズの企業およびメッセージング ホストの電子メール ニーズに対する、強力で柔軟性のあるプラットフォーム間ソリューションを提供します。

本書の内容：

- 本書の対象読者
- 前提条件
- 本書の編成
- 本書の表記規則
- 関連情報
- 本書のオンライン情報

本書の対象読者

本書は、Delegated Administrator for Messaging をサイトでインストールおよび管理する必要があるユーザを対象にしています。

前提条件

本書では、Delegated Administrator for Messaging ソフトウェアをインストールおよび管理する責任があり、以下のことに関する一般的な知識を持っていることを前提としています。

- インターネットおよび World Wide Web
- iPlanet ディレクトリ サーバおよび LDAP
- Netscape コンソール

本書の編成

本書には、次の章および付録が含まれています。

- 本書について (本章)
- 第 1 章「プリインストール問題および説明」
- 第 2 章「インストール手順」
- 第 3 章「Delegated Administrator for Messaging の管理」

本書の表記規則

モノスペース

モノスペースは、コンピュータ画面に表示されるテキストまたは入力する必要のあるテキストに使用されます。また、ファイル名、特別な名前、機能および例にも使用されます。

ボールド モノスペース

ボールド モノスペースは、入力する必要のあるコード例のテキストに使用されます。たとえば、次のように使用されます。

./setup

Sun-Netscape Alliance
iPlanet Server Products Installation/Uninstallation

Welcome to the iPlanet Server Products installation program. This program will install iPlanet Server Products and the iPlanet Console on your computer.

It is recommended that you have "root" privilege to install the software.

Tips for using the installation program:

- Press "Enter" to choose the default and go to the next screen
- Type "Control-B" to go back to the previous screen
- Type "Control-C" to cancel the installation program
- You can enter multiple items using commas to separate them.

For example: 1, 2, 3

Would you like to continue with installation? [Yes]:

この例では、**./setup** は、コマンドラインから入力するテキストであり、残りは結果として表示されるテキストです。

イタリック

イタリックは、インストール環境に一意の情報 (例: 変数) を使用して入力するテキストに使用されます。また、サーバのパスや名前、アカウント ID にも使用されます。

たとえば、本書では、次の形式でパスを表します。

server-root/*msg-serverID*/...

この場合、*server-root* は、サーバをインストールするディレクトリパスを表し、*msg-serverID* は、サーバをインストールするときに使用するサーバインスタンスを表します。たとえば、ディレクトリ */usr/iplanet/server5* にサーバをインストールして、サーバインスタンス *tango* を使用する場合、実際のパスは次のようになります。

/usr/iplanet/server5/msg-tango/

角括弧または直線の括弧

角 (または直線の) 括弧 [] は、オプションパラメータを囲むときに使用されます。たとえば、本書では、`setup` コマンドの使用方法が次のように示されます。

```
./setup [options] [argument]
```

次のように、`setup` コマンド自体を実行して、**Messaging Server** のインストールを開始することができます。

```
./setup
```

ただし、[options] および [arguments] は、`setup` コマンドに追加される可能性のあるオプションパラメータがあることを示します。たとえば、`-k` オプションを指定して、`setup` コマンドを使用すると、インストール キャッシュを保持することができます。

```
./setup -k
```

コマンドライン プロンプト

コマンドラインプロンプト (たとえば、**C** シェルの `%` または **Korn** や **Bourne** シェルの `$`) は例には示されません。これは、使用しているオペレーティングシステム環境によって、様々なコマンドラインプロンプトが表示されるからです。しかし、特別に指定されていない限り、本書に示されている通りにコマンドを入力する必要があります。

関連情報

本書の他に、**Delegated Administrator for Messaging** には、管理者の補足情報、およびエンドユーザや開発者のマニュアルが添付されています。次の URL を使用すると、すべての Messaging Server マニュアルを参照できます。

<http://docs.iplanet.com/docs/manuals/messaging.html>

本書のオンライン情報

『*iPlanet Messaging Server 5.0 Administrator's Guide*』は、オンラインで PDF および HTML 形式で参照できます。本書を参照するには、次の URL を使用します。

<http://docs.iplanet.com/docs/manuals/messaging.html>

プリインストール問題および説明

本章の内容：

- 「製品要件および制限」
- 「プリインストールの手順」

製品要件および制限

本章では、iPlanet Web Server および Delegated Administrator for Messaging を 1 台のコンピュータにインストールするための、最小限のシステム要件について説明します。また、Delegated Administrator for Messaging の制限についても説明します。

ソフトウェア要件

- Solaris 2.x オペレーティング環境
- iPlanet Messaging Server 5.0
- iPlanet Directory Server 4.12
- iPlanet Web Server 4.1 SP2 (Service Pack 2)
- 管理者の場合、Netscape Communicator 4.71 以降または Microsoft Internet Explorer 4.0 以降などの Web ブラウザ
- その他のユーザの場合、Netscape Communicator 4.51 以降または Microsoft Internet Explorer 4.0 以降などの Web ブラウザ

ハードウェア要件

Unix の最小限のシステム要件を次に示します。

- 最低 128 MB の RAM.
- インストール サーバ ファイル用の最低 145 MB のハードディスク容量。ただし、インストール プロセス中には、この 2 倍の容量が必要です。インストールが終了したら、インストール ファイルを削除できます。
- 最低 RAM と同量のスワップ容量 (推奨容量は、RAM の 2 倍)

製品制限

- Messaging Server および Directory Server のフレッシュ インストールが必要です。本製品は、既存のエントリがあるディスレクトリでは機能しません。
- Delegated Administrator for Messaging の古いバージョンから Delegated Administrator for Messaging にアップグレードすることはできません。
- Delegated Administrator for Messaging コマンドラインインターフェイス、Delegated Administrator for Messaging GUI または *iPlanet Messaging Server Provisioning Guide* を使用して規定されたユーザまたはグループ エントリでのみ機能します。既存のエントリをアップグレードして、Delegated Administrator for Messaging を使用するには、規定ガイドの説明に従います。

ブリインストールの手順

Delegated Administrator for Messaging のインストール手順を始める前に、次のことを行う必要があります。

- iPlanet Messaging Server をインストールして、インストール時に入力した、次の表に示すパラメータを記録する (『*iPlanet Messaging Server Installation Guide*』を参照)

Delegated Administrator for Messaging のインストール手順には、iPlanet Enterprise Server (Web サーバ) のインストール、およびインストールパラメータの記録 (8 ページの「ステップ 4 : iPlanet Web Server 4.1 SP2 のインストールおよびアップグレード」を参照) が含まれます。Delegated Administrator for Messaging インストールで収集する必要があるすべての属性を、次の表のリストに示します。これらの属性を空白行に書き込みます。これらは、次の章で説明するように、Delegated Administrator for Messaging インストール中に使用されます。

表 1-1 Delegated Administrator for Messaging インストールに必要な情報

パラメータ	指定される時	値
Messenger Express (Webmail) ポート番号	Messaging Server インストール時	例：80 (Web Server Port と競合しないようにする必要があります。 「ステップ 4：iPlanet Web Server 4.1 SP2 のインストールおよびアップグレード」を参照。) ポート番号： _____
Messaging Server 管理者	Messaging Server インストールの Admin Server 部	例：UID: ServiceAdmin Password: PaSsWoRd ユーザ ID： _____ パスワード： _____
Messaging Server ホスト名 (省略なし)	Messaging Server インストール時	例：galaxy.siroe.com ホスト： _____
管理サーバ ホスト (Messaging Server 用) およびそのポート番号	Messaging Server インストールの Admin Server 部	例：galaxy.siroe.com:1210 ホスト / ポート： _____
Web サーバ ポート	Web サーバのインストール時 (8 ページの「ステップ 4：iPlanet Web Server 4.1 SP2 のインストールおよびアップグレード」を参照)	例：2001 (Web Mail Port と競合しないようにする必要があります。) Web サーバ ポート： _____
Web サーバ構成ディレクトリ	Web サーバのインストール時 (8 ページの「ステップ 4：iPlanet Web Server 4.1 SP2 のインストールおよびアップグレード」を参照)	例：/home/es/https-webserver1/config ディレクトリ： _____

表 1-1 Delegated Administrator for Messaging インストールに必要な情報

パラメータ	指定される時	値
LDAP サーバ ホスト (省略なし) およびユーザ / グループ データを含むポート番号	Messaging Server インストールのディレクトリ部	例 : kimura.siroe.com:389 ホスト / ポート : _____
Directory Manager ベースの DN およびパスワード	Messaging Server インストールのディレクトリ部	例 : cn=Directory Manager; PaSsWoRd DN / Password : _____
ユーザ データのサフィックス。ユーザ データを含む組織ツリー下のルート。	Messaging Server インストールのディレクトリ部	例 : o=iplanet.com サフィックス : _____

インストール手順

本章の内容：

- 「ステップ 1：iPlanet Messaging Server 5.0 のインストールおよびインストールパラメータの記録」
- 「ステップ 2：Directory Server プラグインの構成」
- 「ステップ 3：Directory Server の構成」
- 「ステップ 4：iPlanet Web Server 4.1 SP2 のインストールおよびアップグレード」
- 「ステップ 5：Delegated Administrator のインストール」
- 「Delegated Administrator の使用」

表 2-1 では、インストール手順の要約、および各ステップの詳細な手順を説明するセクションを示します。

表 2-1 Delegated Administrator のインストール手順の要約

インストール手順	詳細な手順
1. iPlanet Messaging Server 5.0 のインストール。	『 <i>iPlanet Messaging Server Installation Guide</i> 』を参照。また、このステップでは、iPlanet Directory Server 4.12 もインストールします。
2. Directory Server プラグインの構成。	6 ページの「ステップ 2：Directory Server プラグインの構成」を参照。
3. Directory Server の構成。	7 ページの「ステップ 3：Directory Server の構成」を参照。
4. Delegated Administrator for Messaging と同じマシンへの iPlanet Web Server, Enterprise Edition, 4.1 SP2 のインストール。	Delegated Administrator for Messaging と同じ CD。 http://docs.ipplanet.com/docs/manuals/enterprise.html#41 の『Web Server 4.1 Installation Guide』を参照。
5. Delegated Administrator for Messaging のインストール。	「ステップ 5：Delegated Administrator のインストール」を参照。

ステップ 1 : iPlanet Messaging Server 5.0 のインストールおよびインストール パラメータの記録

『*iPlanet Messaging Server Installation Guide*』を参照してください。特に 3 ページの表 1-1 に示したインストールパラメータを記録します。

ステップ 2 : Directory Server プラグインの構成

Delegated Administrator をインストールするには、2 つのオプション プラグインの構成が必要な場合もあります。これらのプラグインは、Directory Server 4.12 とともに自動的にインストールされますが、SLAPD 構成ファイルを修正してアクティブにする必要があります。これらのプラグインについて以下で説明します。

サービス クラス。 このプラグインは、ユーザ エントリのサービス クラス属性に基づいた、ユーザの特定の構成値およびリソース制限を定義します。詳細については、『*iPlanet Delegated Administrator 4.5 Deployment and Customization Guide*』の第 6 章「サービス クラス」セクションを参照してください。

ディレクトリ エントリ カウント。 このプラグインは、ディレクトリに対して追加または削除された組織、グループ、ユーザのカウント値を自動的に保守します。これにより、エントリ タイプの数の最新カウント数が提供されます。

Directory Server プラグインを構成するには :

1. Directory Server を停止します。
2. Delegated Administrator で使用する Directory Server の各インスタンスで、次のファイルを修正します (ここで、`<NSHOME>` は Directory Server ルートです)。

```
<NSHOME>/slapd-<host_identifier>/config/slapd.ldbm.conf
```

- a. サービス クラス機能を使用する場合、次の行の先頭のハッシュ記号 (#) を削除して、これらの行のコメント化を解除します。

```
#plugin postoperation on "Class of Service"  
<Directory_root>/lib/cos-plugin.so cos_init o=iplanet.com
```

```
#plugin preoperation on "Class of Service init"  
<Directory_root>/lib/cos-plugin.so cos_preop_init
```

上記の 2 つのラインが欠落している場合、コメント文字なしで、これらの行をファイルに追加します。

- b. ファイルに次に示すラインがある場合、コメント化する必要があります。

```
#include "<Directory_root>/slapd-rtfm/config/counters.ldbm.conf"
```


- c. このファイルの内容を追加します。
`<Directory_root>/slapd-<identifier>/config/counters.ldbm.conf`

3. Directory Server を起動します。

ステップ 3 : Directory Server の構成

ページ処理および検索パフォーマンスを最適化することをお勧めします。ただし、すべての Delegated Administrator で必要という訳ではありません。すでにユーザやグループにディレクトリを規定している場合、必ずユーザ エントリを修正する必要があります。『*iPlanet Messaging Server Provisioning Guide*』のガイドラインに従って、Delegated Administrator for Messaging と併用するための既存エントリをアップグレードします。

ページ処理および検索パラメータの最適化

Directory Server 構成を修正すると、Delegated Administrator ページ処理および検索パラメータを最適化できます。ユーザが 5000 を超えるドメインがディレクトリにある場合、次の処置が必要です。

- memberof 属性のインデックスの追加
- lookthroughlimit パラメータのリセット
- sizelimit パラメータのリセット
- All ID Threshold 値の適切な設定

Directory Server に適切なインデックスを追加するには :

1. Netscape コンソールを使用して、[Directory Server] ウィンドウの [構成] タブを選択して、データベース アイコンをクリックします。
2. 右のペインの [インデックス] タブを選択します。
3. memberof 属性を追加するには、[属性の追加] をクリックして、次のことを行います。
 - a. [属性の選択] ウィンドウで、memberof 属性を選択して、[OK] をクリックします。
 - b. [属性の選択] リストで、nsdadomain 属性を選択して、[等価]、[属性]、[Substring] ボックスにチェックマークを付けます。

4. [保存] をクリックします。

lookthroughlimit をリセットするには :

1. Netscape コンソールを使用して、[Directory Server] ウィンドウの [構成] タブを選択して、左のペインのデータベース アイコンを選択します。
2. 右のペインの [パフォーマンス] タブを選択します。
3. [検索制限] フィールドに、-1 を入力します。
4. [保存] をクリックします。

sizelimit パラメータをリセットするには :

1. Netscape コンソールを使用して、[Directory Server] ウィンドウの [構成] タブを選択して、左のペインのナビゲーション ツリーでルート エントリを選択します。
2. 右のペインの [パフォーマンス] タブを選択します。
3. [サイズ制限] フィールドに、-1 を入力します。
4. [保存] をクリックします。

All IDs Threshold 値の設定

デフォルトでは、Directory Server の All IDs Threshold は 4000 に設定されています。Delegated Administrator のこの値は、ディレクトリのユーザ数より大きくする必要があります。この値の変更についての詳細は、<http://docs.iplanet.com/docs/manuals/directory/41/admin/index1.htm#1053642> にある『*Directory Server Administrator's Guide*』の第 7 章の「All IDs Threshold の管理」セクションを参照してください。

ステップ 4 : iPlanet Web Server 4.1 SP2 のインストールおよびアップグレード

iPlanet Web Server 4.1 SP2 および Delegated Administrator for Messaging は、同じコンピュータ システムにインストールする必要があります。Web サーバは、/solaris/ES の CD にあります。

iPlanet Web Server 4.1SP2 をインストールしていない場合は、ここでインストールします。pre-4.1 Web Server をインストールしている場合、4.1SP2 バージョンにアップグレードする必要があります。

<http://docs.iplanet.com/docs/manuals/enterprise.html#41> にある『Web Server 4.1 Installation Guide』の手順に従ってください。インストール中、プロンプトが表示されても Directory Server を指定する必要はありません。

注 iPlanet Web Server ポートには、Messaging Server インストール中に指定された Messenger Express (Web Mail) ポートとは違うポートを割り当てる必要があります。Web Server インストール中に設定されるパラメータは、構成や Delegated Administrator for Messaging インストールで必要になることがあるので、すべて書き留めてください。

ステップ 5 : Delegated Administrator のインストール

3 ページの表 1-1 の情報シートへの記入が終了したら、Delegated Administrator インストールプログラムを実行します。UNIX の場合、root になり、cd を入力して、/solaris/iDA の CD のインストール ファイル ディレクトリを指定します。次に、./setup を入力します。インストール中、次のような画面が表示されます。入力したインストール値を、本書の下線フィールド、または将来参照できるようにその他の場所書き留めておくことをお勧めします。

インストール画面 1 — ヒント

```
-----
Sun-Netscape Alliance
iPlanet Delegated Administrator for Messaging Installation/Uninstallation
-----
```

```
Welcome to the iPlanet Delegated Administrator for Messaging installation program
This program will install iPlanet Server Products and the
iPlanet Console on your computer.
```

```
It is recommended that you have "root" privilege to install the software.
```

```
Tips for using the installation program:
```

- Press "Enter" to choose the default and go to the next screen
- Type "Control-B" to go back to the previous screen

- Type "Control-C" to cancel the installation program
- You can enter multiple items using commas to separate them.
For example: 1, 2, 3

Would you like to continue with installation?[Yes]:**yes**

Yes continues with installation.**No** terminates installation process.

* * *

インストール画面 2 — ライセンス

Sun-Netscape Alliance
iPlanet Delegated Administrator for Messaging Installation/Uninstallation

BY INSTALLING THIS SOFTWARE YOU ARE CONSENTING TO BE BOUND BY
AND ARE BECOMING A PARTY TO THE AGREEMENT FOUND IN THE
LICENSE.TXT FILE.IF YOU DO NOT AGREE TO ALL OF THE TERMS
OF THIS AGREEMENT, PLEASE DO NOT INSTALL OR USE THIS SOFTWARE.

Do you agree to the license terms?[y]:

y continues. **n** terminates installation.

* * *

インストール画面 3 — インストール場所

Sun-Netscape Alliance
iPlanet Delegated Administrator for Messaging Installation/Uninstallation

This program will extract the iPlanet Delegated Administrator for Messaging
application from the distribution media and install it into a directory you
specify.

Install location [/usr/netscape/nda45]:_____

これは、Delegated Administrator for Messaging インストール ファイルの場所です。ファイルは、ディレクトリ内の任意の場所に移動できます。このパラメータは、管理のため後で必要になります。

* * *

インストール画面 4 — Purge コマンドの使用

Sun-Netscape Alliance
iPlanet Delegated Administrator for Messaging Installation/Uninstallation

If you want iPlanet Delegated Administrator for Messaging to manage a Messaging Server, you will be asked for the Messaging Server identifier and it's Administration Server URL.

Manage Messaging Server [No]:Yes
Specify Host Name [galaxy.siroe.com]: _____
Specify Admin URL: _____
Specify CGI Path [msg-galaxy/Tasks/operation]: _____

Yes を指定すると、`imadmin domain/family/group/user purge` コマンドにアクセスできます。**yes** または **no** を指定すると、他の Delegated Administrator for Messaging コマンドにアクセスできますが、`purge` コマンドでは、この追加情報が必要です。**yes** を指定すると、次のようなプロンプトが表示されます。

Host Name は、Messaging Server インストール中に指定された、完全修飾 Messaging Server ホスト名で、3 ページの表 1-1 の Delegated Administrator for Messaging インストール シートの必須情報シートにあります。

Admin URL は、Messaging Server インストールの Administration Server の完全修飾ホスト名およびポート番号です。この情報は、Messaging Server インストール中に指定され、3 ページの表 1-1 の Delegated Administrator for Messaging 情報シートにあります。例：`http://galaxy.siroe.com:1210`

CGI Path では、デフォルトが使用されます。通常、これは、`<machine name>/Tasks/operation` です。

no を指定すると、`<DelegatedAdmin_root>/nda/classes/net scape/nda/servlet/ の resource.properties` ファイルにこれらのラインを追加することで、`purge` コマンドへのアクセスを追加できます。

```
MsgSvr0-name=<fully qualified host name>  
MsgSvr0-adminurl=http://<fully qualified host name>:<host port>  
MsgSvr0-cgipath=msg-<host name>/Tasks/operation
```

* * *

インストール画面 5 — Calendar Server

```
-----  
Sun-Netscape Alliance  
iPlanet Delegated Administrator for Messaging Installation/Uninstallation
```

```
-----  
If you want iPlanet Delegated Administrator for Messaging to manage an  
iPlanet Calendar Server, enter 'Yes'.
```

Manage Calendar Server [No]: _____

```
-----
```

Yes を指定すると、Delegated Administrator for Messaging GUI を使用して、GUI で Calendar User Entries を作成できます。エントリを作成するには、iPlanet Calendar Server をインストールしている必要があるので注意してください。インストールしていない場合、GUI での Calendar リソースの作成は失敗します。

no を指定すると、

```
<DelegatedAdmin_root>/nda/classes/netscape/nda/servlet/resource.  
properties のライン NDAdefaultConfiguration-calendar-support=yes  
を修正または入力することで、Calendar User Entries を作成できます。ライン  
#### INSTALLER #### の下に入力します。
```

* * *

インストール画面 6 — Enterprise Server

```
-----  
Sun-Netscape Alliance  
iPlanet Delegated Administrator for Messaging Installation/Uninstallation
```

```
-----  
iPlanet Delegated Administrator for Messaging requires the configuration  
directory of the Enterprise server instance.The Enterprise server must  
be installed locally on this computer system, and iPlanet Delegated  
Administrator for Messaging will be accessible only for this Enterprise  
server instance.
```

Example:/home/es/https-machine/config

Specify Enterprise server config directory: _____

Enterprise Server (Web サーバ) インスタンスの構成ディレクトリを入力します。構成ディレクトリは、Enterprise Server ルートディレクトリの下にあります。通常、<server_root_dir>/https-<machine_name>/config です。この情報は、Enterprise Server インストール中に指定されます。8 ページの「ステップ 4 : iPlanet Web Server 4.1 SP2 のインストールおよびアップグレード」を参照してください。

* * *

インストール画面 7 — LDAP Server Host & Port

Sun-Netscape Alliance

iPlanet Delegated Administrator for Messaging Installation/Uninstallation

iPlanet Delegated Administrator for Messaging requires the use of a LDAP-based Directory Server for the administration of server configuration. This server is called the Configuration Directory. Enter the non-SSL URL for the directory server:

ldap://<host>:<port>

Specify LDAP URL: _____

この URL は、ユーザ/グループ データ (構成データではありません) を含む LDAP ディレクトリのマシンおよびサーバ ポートを指定します。この情報は、Messaging Server インストール中に指定され、3 ページの表 1-1 の Delegated Administrator for Messaging インストールの必須情報シートにあります。例：
ldap://galaxy.siroe.com:389

* * *

インストール画面 8 — Directory Manager & Password

Sun-Netscape Alliance
iPlanet Delegated Administrator for Messaging Installation/Uninstallation

In order to create the suffix for iPlanet Delegated Administrator for Messaging, enter the base DN and password of the user who can access the Directory Server.

Specify Directory Manager [cn=Directory Manager]: _____
Password:[from above]_____

Directory Manager (Messaging Server インストール中に指定されます) のベース DN およびパスワードを入力します。これらの値は必須です。これは、Delegated Administrator for Messaging が LDAP ディレクトリの構成エントリを作成する必要があるためです。この情報は、3 ページの表 1-1 の Delegated Administrator for Messaging インストールの必須情報シートにあります。

* * *

インストール画面 9 — サービス クラス プラグイン

Sun-Netscape Alliance
iPlanet Delegated Administrator for Messaging Installation/Uninstallation

The Directory Server that iDA uses does not have the Class of Services plugins installed.You can continue the iDA installation now, but you need to install the plugins later for iDA to work properly.

Continue iDA installation?[No]:Yes

サービス クラス プラグインがインストールされていない場合、この警告メッセージが表示されます。ただし、インストールは続行できます。プラグインはいつでもインストールできます。「ステップ 2 : Directory Server プラグインの構成」を参照してください。

* * *

インストール画面 10 — ユーザ データ サフィックス

 Sun-Netscape Alliance
 iPlanet Delegated Administrator for Messaging Installation/Uninstallation

iPlanet Delegated Administrator for Messaging requires a suffix to store its user data. If this base suffix does not exist the Installation program will attempt to create it.

Example:o=isp
 Exmample:dc=isp, dc=com

Specify Suffix: _____

Messaging Server インストールのディレクトリ部で指定される組織ツリーのルートを入力します。これは、ユーザ データが保存先のルートです。この情報は、3 ページの表 1-1 の Delegated Administrator for Messaging インストールの必須情報シートにあります。

* * *

インストール画面 11 — DC サフィックス

 Sun-Netscape Alliance
 iPlanet Delegated Administrator for Messaging Installation/Uninstallation

This suffix is already present in the directory.

Continue without installing iDA information in the directory?[No]:Yes

Specify DC Suffix [o=internet]: _____

- 最初の質問には、**Yes** を指定します。このパラメータは、スタンドアロンの非 iMS インストール用です。サンプル データはインストールされません。

- 2 番目の質問は、ドメイン情報の指定にシステムが使用する DC ツリー ルートに対する質問です。このパラメータは、デフォルトでは、`o=internet` です。このパラメータが、Messaging System で再構成されていない場合、デフォルトを使用します。

* * *

インストール画面 12 — 構成サフィックス

Sun-Netscape Alliance
iPlanet Delegated Administrator for Messaging Installation/Uninstallation

iPlanet Delegated Administrator for Messaging requires a suffix to store
it's configuration data.If this base suffix does not exist the
Installation program will attempt to create it.

Example:o=isp
Exmample:dc=isp, dc=com

Specify Suffix [o=siroe.com]:

ユーザ データと同じサフィックスを使用します。15 ページの「インストール
画面 10 — ユーザ データ サフィックス」を参照してください。

* * *

インストール画面 13 — URL

Sun-Netscape Alliance
iPlanet Delegated Administrator for Messaging Installation/Uninstallation

Extracting Netscape core components...
Extracting iPlanet Delegated Administrator for Messaging...

Restarting Enterprise Server
Connecting netscape browser to *http://galaxy.siroe.com:2001/nda/start.htm*

Press Return to continue...

表示される URL (たとえば、
`http://galaxy.siroe.com:2001/nda/login.htm`) は、Delegated Administrator for Messaging にログインするときに必要なので覚えておいてください。ポート番号を忘れた場合、
`<server_root_dir>/https-<machine_name>/config/magnus.conf` で確認することができます。

Delegated Administrator の使用

Web ブラウザで `http://<host:webserver_port>/nda/login.htm` 指定して、[Delegated Administrator for Messaging ログイン] ページにアクセスします。

[ログイン] ページを使用して、ページの任意のレベルの管理者としてログインできます。ログインするときに使用するユーザ ID およびパスワードにより、管理者の役割、およびアクセス権のあるディレクトリ ブランチが判別されます。

[起動] ページから Delegated Administrator を起動するには :

1. ブラウザで、`http://<host:webserver_port>/nda/login.htm` フォームを使用して、Delegated Administrator ホストの URL を入力します。
2. [ログイン] をクリックします。
3. [Delegated Administrator ログイン] ウィンドウで、管理者のシステム ユーザ ID およびパスワードを入力します。たとえば、`serviceadmin` としてログインするには、次のように入力します。

ユーザ ID : `serviceadmin@<default domain>.com`

パスワード : `password`

4. [ログイン] をクリックします。

Delegated Administrator により、入力したユーザ ID に該当する管理ページが表示されます。

Delegated Administrator for Messaging の管理

本章の内容 :

- 「Delegated Administrator のアンインストール」
- 「Delegated Administrator for Messaging 特権ユーザ パスワードの変更」
- 「LDAP Server およびポートの変更」
- 「Messaging Server Host または Administration Server Port の変更」
- 「Delegated Administrator for Messaging Web Server の再起動」
- 「シングル サイン オンの追加」
- 「Secure Socket Layer の追加」
- 「Input Validation Servlet の変更」

Delegated Administrator のアンインストール

アンインストールプログラムを実行すると、次のようになります。

- すべての Delegated Administrator バイナリが削除されます。
- Web サーバ構成は、Delegated Administrator がインストールされる前に状態に戻ります。
- Web サーバが再起動されます。
- 初期インストール後に生成されたすべての Delegated Administrator ファイルは、コンピュータ システムに残ります。

- Delegated Administrator インストール時にディレクトリに追加されたすべてのデータ、およびその後追加された任意のデータは、ディレクトリに残ります。

Delegated Administrator をアンインストールするには、アンインストール プログラムを実行します。

- Delegated Administrator をアンインストールする場合、Directory Server および Web Server の両方が、インストールされ、実行している必要があります。
- Unix では、cd によりインストール ディレクトリを示し、./uninstall を入力します。

Delegated Administrator for Messaging 特権ユーザ パスワードの変更

インストール中に、特権ユーザ (DN: cn=NDAUser, ou=config, o=<root of Org Tree>) がディレクトリに作成されます。このユーザは、Delegated Administrator により使用され、匿名検索を行うため、ディレクトリにバインドされます。また、デフォルトのパスワード (auth) はこのユーザに作成されます。このパスワードを変更する場合、次のように変更する必要があります。

1. ファイル resource.properties が保存されているディレクトリに移動します。

```
<DelegatedAdmin_root>/nda/classes/netscape/nda/servlet/
```

2. ファイル resource.properties で、次のエントリのパスワードを変更します。

```
NDABasicAuth-uidrespw=auth
```

権限のあるユーザだけが、このパスワードにアクセスできることを確認してください。

3. ldapmodify を使用して、NDAUser エントリのパスワードを変更します。ディレクトリ <DirectoryServer_root>/shared/bin で、次のコマンドを入力します。

```
ldapmodify -h <host_name> -p <port_number> -D "cn=directory manager" -w <password>
```

4. プロンプトで、次のコマンドを入力します。

```
dn:uid=NDAUser, ou=config, o=<base_suffix>
changetype:modify
replace:userpassword
userpassword:<newpassword>
```

5. コマンドを完了するには :
 - Unix の場合、<Ctrl-D> を入力します。
 - Windows NT の場合、<Ctrl-Z> を入力します。
6. Web Server を再起動します。

LDAP Server およびポートの変更

Delegated Administrator for Messaging が示す LDAP Server ホストおよびポート (Delegated Administrator for Messaging インストール中に指定。13 ページの「インストール画面 7—LDAP Server Host & Port」を参照) を変更する場合、必要に応じて、属性 `LDAPDatabaseInterface-ldaphost` および `LDAPDatabaseInterface-ldapport` を修正します。これらの属性は、次に示すディレクトリのファイル `resource.properties` にあります。

```
<DelegatedAdmin_root>/nda/classes/netscape/nda/servlet/
```

Messaging Server Host または Administration Server Port の変更

Delegated Administrator for Messaging がサポートする Messaging Server ホストまたは Administration Server ポート (Messaging Server インストール中に指定) を変更する場合、必要に応じて、属性 `MsgSvr0-name` (ホスト名) および `MsgSvr0-adminurl` (Administration Server URL) を修正します。これらの属性は、次に示すディレクトリのファイル `resource.properties` にあります。

```
<DelegatedAdmin_root>/nda/classes/netscape/nda/servlet/
```

Delegated Administrator for Messaging Web Server の再起動

Delegated Administrator for Messaging Web Server プロセスが中断した場合、次のコマンドを実行して、このプロセスを停止し、再開します。

```
<root of web server>/https-<fully-qualified machine name>/stop
<root of web server>/https-<fully-qualified machine name>/start
```

例：

```
/export/servers/enterpriseserver/https-red.iplanet.com/stop  
/export/servers/enterpriseserver/https-red.iplanet.com/start
```

シングルサインオンの追加

Delegated Administrator for Messaging のシングルサインオンを使用可能にするには、『*iPlanet Messaging Server 5.0 Administrator's Guide*』の第2章を参照してください。

Secure Socket Layer の追加

Delegated Administrator for Messaging を構成して、SSL ベースの接続を使用するには、http://docs.iplanet.com/docs/manuals/deladmin/45/html/04_conf.htm#22559 にある『*iPlanet Delegated Administrator 4.5 Deployment and Customization Guide*』の第4章の「Secure Sockets Layer (SSL)」セクションを参照してください。

User Directory Failover の追加

http://docs.iplanet.com/docs/manuals/deladmin/45/html/04_conf.htm#27796 にある『*iPlanet Delegated Administrator 4.5 Deployment and Customization Guide*』の第4章の「User Directory Failover」セクションを参照してください。

Input Validation Servlet の変更

データが、Delegated Administrator for Messaging の特定の属性フィールドに入力されると、データを受け入れる前に、Validation Servlet またはルーチンにより、そのデータが、アルファベットや英数字などの特別なタイプのデータか検証されます。

属性によっては、修正する必要がある妥当性検査ルーチンがあります。たとえば、電話番号のデフォルトの妥当性検査ルーチンは、数字区切りですが、英数字区切りにすることができます。

これらの妥当性検査ルーチンは、変更または削除できますが、Delegated Administrator for Messaging が正しく機能するために必要なルーチンもありますので、変更または削除する場合は、十分に考慮してください。

特定の属性の妥当性検査ルーチンを変更するには、次に示すディレクトリにある `resource.properties` ファイルの該当する属性 / 妥当性検査のペアを修正します。

```
<DelegatedAdmin_root>/nda/classes/netscape/nda/servlet
```

次に、Delegated Administration for Messaging バイナリをサポートする Web サーバを再起動します。

各属性 / 妥当性検査のペアのフォーマットは次の通りです。

```
validateAttr-<attribute>=<java servlet>
```

例：

```
validateAttr-givenname=netscape.nda.util.ValAlphaNumericPunctuation
validateAttr-surname=netscape.nda.util.ValAlphaNumericPunctuation
validateAttr-telephonenumber=netscape.nda.util.ValNumericPunctuation
validateAttr-fax=netscape.nda.util.ValTelephone
```

開発のニーズによって、妥当性検査ルーチンを変更できます。たとえば、`givenname` を、次に示す属性 - 値ペアの設定により、アルファベット文字だけに制限することができます。

```
validateAttr-givenname=netscape.nda.util.ValAlpha
```

また、妥当性検査ルーチンは、そのラインの削除または、ラインの先頭にハッシュ記号 (#) を付けてコメントアウトすることによって、完全に削除することもできます。

この妥当性検査ルーチンを次に示します。

- `netscape.nda.util.ValAlpha` - 有効な英字文字列かどうかを検査します。
- `netscape.nda.util.ValAlphaNumeric` - 有効な英数字文字列かどうかを検査します。
- `netscape.nda.util.ValAlphaNumericPunctuation` - 有効な英数字または区切り文字列かどうかを検査します。
- `netscape.nda.util.ValNumericPunctuation` - 有効な数値または区切り文字列かどうかを検査します。
- `netscape.nda.util.ValPositiveInteger` - 「0」または正の整数であるかを検査します。
- `netscape.nda.util.ValTelephone` - 数字または記号)、(、- を含む文字列かどうかを検査します。

次の妥当性検査ルーチンは、内部専用に使⽤されます。これらのルーチンのラインは削除しないでください。

```
netscape.nda.util.ValAccess  
netscape.nda.util.ValBroadcaster  
netscape.nda.util.ValBroadcasterPolicy  
netscape.nda.util.ValDomain  
netscape.nda.util.ValMailAddress  
netscape.nda.util.ValMailAutoReplyMode  
netscape.nda.util.ValMailDeliveryOption  
netscape.nda.util.ValIMSStatus  
netscape.nda.util.ValQuota  
netscape.nda.util.ValExtendedQuota  
netscape.nda.util.ValVacationDate
```

索引

A

Administration Server ポート、変更, 21

C

Calendar, 12

Calendar Server, 12

D

Delegated Administrator

CD ディレクトリ, 9

DC サフィックス, 15

Enterprise Server, 12

Purge コマンド, 11

URL, 16

インストール, 9

インストール ナビゲーション, 9

インストール場所, 10

構成サフィックス, 16

使用, 17

ポート番号, 17

ユーザ データ サフィックス, 15

ライセンス, 10

ログイン, 17

Delegated Administrator の削除, 19

Directory Failover, 22

Directory Manager

パスワードの変更, 20

Directory Manager & Password, 14

Directory Manager、パスワード, 14

Directory Server

lookthroughlimit のリセット, 8

sizelimit パラメータのリセット, 8

インデックスの追加, 7

構成, 7

互換性, 1

最適化, 7

パスワード, 14

プラグイン, 6

変更, 21

ポート, 13

E

Enterprise Server、「Web Server」を参照

I

Input Validation, 22

iPlanet Messaging Server Installation Guide、インストール, 6

L

LDAP Server Host & Port, 13
LDAP Server およびポート、変更, 21
lookthroughlimit, 7
lookthroughlimit、Directory Server, 8

M

memberof, 7
Messaging Server
変更, 21

N

Netscape コンソール, 8

P

Purge コマンド, 11

S

Secure Socket Layer, 22
sizelimit, 7
SSL, 22

V

Validation Servlet, 22

W

Web Server
インストール

あ

アンインストール, 19

い

インストール
Apache HTTP Server, 5
Delegated Administrator, 5
システム要件, 1
チェックリスト, 5
インストール手順、要約, 5

き

[起動] ページ
ログイン, 17

さ

サービスのクラス, 6
サービスのクラス プラグイン, 14

し

システム制限, 2
システム要件, 1
シングル サイン, 22

せ

制限, 1, 2

そ

属性ワークシート, 3
ソフトウェア要件, 1

て

ディレクトリ エントリ カウント, 6

は

ハードウェア要件, 2

ひ

必須情報, 3

ふ

プラグイン, 6
プリインストールの手順, 2

ほ

本書の表記規則, vi

ゆ

ユーザ データ サフィックス, 15

よ

要件, 1
Web ブラウザ, 1
ソフトウェア, 1
ハードウェア, 2

ろ

ログイン, 17
[起動] ページ, 17
[ログイン] ウィンドウ, 17

わ

ワークシート、属性, 3

